



広報

なは

市民の友

第805号毎月1日発行

2018年(平成30年)

2月

発行 那覇市
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷 丸正印刷株式会社
配布 那覇市シルバー人材センター

漫湖へ渡り鳥を見に行こう



クロツラヘラサギ



ムナグロ



カワセミ



ミサゴ



ソリハシセイタカシギ



ギンムグドリ



インビヨドリ



ゴイサギ



ダイサギ



シロハラ



中でも世界で約四千羽しかないと言われる珍しいクロツラヘラサギも漫湖に降り立ちます。クロツラヘラサギを始め、漫湖で冬を過ごした鳥たち、旅鳥たちです。

漫湖を訪れる鳥の多くは渡り鳥。暖かい沖縄で冬を過ごすため遠く朝鮮半島や中国大陸から来る「冬鳥」、もっと南へ行くために沖縄を通過していく「旅鳥」たちです。

漫湖を訪れる鳥の多くは渡り鳥。暖かい沖縄で冬を過ごすため遠く朝鮮半島や中国大陸から来る「冬鳥」、もっと南へ行くために沖縄を通過していく「旅鳥」たちです。

都会のオアシス 那覇市の国場川河口に広がる漫湖。県内最大級の湿地として知られ、ここではカニやハゼ、それを餌にする鳥など、様々な生物を見ることが出来ます。

漫湖へ出かけよう

ちはこの時期、元いた場所へ帰るための準備で大忙し。長旅に備えてたくさん餌を食べている姿を見ることが出来ます。

バードウォッチングは冬こそがおすすめです。前述したように、冬になると鳥の数・種類が増えます。また、観察しやすい水辺に多くの鳥が集まるのも冬なのです。

「水鳥と湿地と人をつなぐ場所」として、2003年、漫湖水鳥・湿地センターが開館しました。みなさん、都会のオアシス・漫湖の魅力に触れてみませんか。

漫湖の保全活動について

環境保全課

漫湖の自然観察について

漫湖水鳥・湿地センター

☎840・5121

市長からのメッセージ

湿地は私たちの暮らしを豊かにする

都市にある湿地は、渡り鳥の休息地としての役割とともに、街から流れてくる泥や汚れを浄化する場所として、海を守る大切な役割もあります。また、湿地を訪れることで、多くの渡り鳥をはじめとした様々な生物の営みを見ることができ、都市の中にいながら自然の豊かさを感じ心安らぐことができます。

2月2日は「世界湿地の日」。そして今年のテーマは「まちの暮らしを支える湿地」です。都市と自然が共生し、水辺の環境や希少な生物が守られることで、持続可能な未来を築いていきたいですね。皆さんも、自然の癒しを求めて漫湖を訪れてみませんか。

那覇市長 城間幹子



主な紙面

- 漫湖へ渡り鳥を見に行こう 1
- 平成30年度 那覇市臨時・非常勤職員募集 2
- 読売巨人軍 那覇キャンプ 2018/ 市民税・県民税兼国保税の申告 / 障害者控除・おむつ代控除 3
- 受けましたか?乳がん検診 / 那覇から何を発信していくか / 取っ手付きごみ袋を販売します 4
- 情報パック / 博物館トピックス 5~8

総人口 323,290 人(4,346 人)

男:156,754人(2,406人)/女:166,536人(1,940人)

世帯数 150,658 世帯(2,992 世帯)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2017(平成29)年12月末現在

Facebook



LINE



YouTube



Instagram



防災 Twitter



マチイロ

